

# 環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年7月～2024年6月】

梅原モデル 株式会社



## 《目次》

|     |                   |     |
|-----|-------------------|-----|
| 【1】 | 環境経営方針            | P-1 |
| 【2】 | 事業活動の規模           | P-2 |
| 【3】 | EA21推進体制          | P-3 |
| 【4】 | 環境経営目標とその実績       | P-4 |
| 【5】 | 環境経営計画の取組計画と評価    | P-5 |
| 【6】 | 環境関連法規制の遵守        | P-6 |
| 【7】 | 代表者による全体評価と見直し・指示 | P-6 |

梅原モデル株式会社

代表取締役 梅原勝揮

## 1. 環境経営方針

### 〔基本理念〕

梅原モデル株式会社は、地球温暖化問題が人類共通の問題であることを認識し、地球環境の保全及び地域社会への貢献を目指すべく、社員一人一人が環境に配慮した行動を実践します。

### 〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の主力事業である、プラスチックおよびアルミニウム製品試作品製作の領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
  - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
  - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
  - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
  - ④環境に配慮した製品を作ります。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し取組みま策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

作成日2017年 7月 1日

改定日2018年 7月 1日

梅原モデル株式会社  
代表取締役 梅原 勝揮

## 2. 事業活動の規模

### 1. 事業所及び代表者名

梅原モデル株式会社  
代表取締役 梅原 勝揮

### 2. 所在地

〒373-0015 群馬県太田市東新町651

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 梅原 勝揮  
環境管理責任者 : 取締役 平井 由美子  
担当 : エコアクション環境委員会 倉上 瞬  
TEL : 0276-37-5700  
FAX : 0276-37-5702

### 4. 対象範囲

梅原モデル株式会社 全組織・全活動

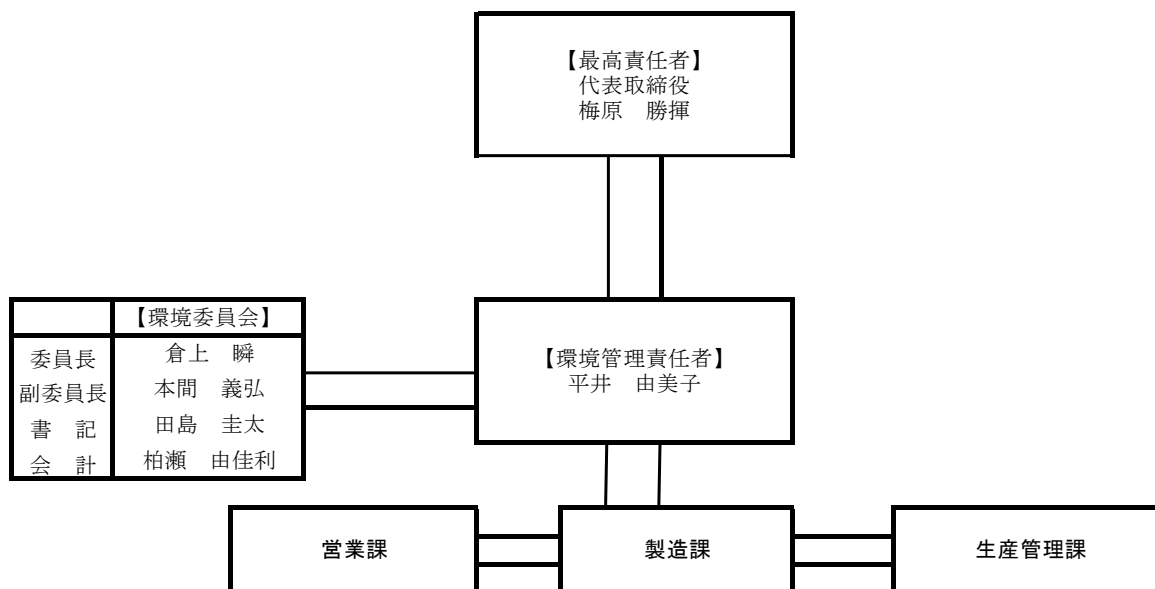
### 5. 事業の内容

プラスチック製品試作品製作

### 6. 事業規模

| 活動規模  | 単位             | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|-------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高   | 百万円            | 168   | 166   | 181   | 198   |
| 従業員数  | 人              | 24    | 23    | 27    | 30    |
| 延べ床面積 | m <sup>2</sup> | 782   | 782   | 782   | 782   |

### 3. エコアクション21 推進組織図



| 職名      | 役割                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 最高責任者   | <b>【代表取締役 梅原 勝揮】</b><br>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。<br>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。<br>③環境経営方針を制定する。<br>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。<br>⑤課題とチャンスの明確化。 |
| 環境管理責任者 | <b>【平井 由美子】</b><br>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。<br>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。                                                                                                        |
| 環境委員会   | 最高責任者・環境管理責任者・主任以下社員で構成し、1ヶ月に1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。                                                                                                                                                  |

## 4. 環境経営目標とその実績

### 1. 環境経営目標とその実績

\*2023年度の実績は、2023年7月～2024年6月の12ヶ月のデータです。

\*2022年度の購入電力の排出係数は、0.436kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。(R.2年実績R4.7.14日公表)

\*2023年度の購入電力の排出係数は、0.430kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。(R.2年実績R5.12.22日公表)

\*化学物質取扱は一度に少量での使用が基本のため、目標を「管理の徹底」とします。

| 環境経営目標                                            | 基準値                | 今年度目標           |        |       |         | 中長期の目標<br>(2年後) |                 |
|---------------------------------------------------|--------------------|-----------------|--------|-------|---------|-----------------|-----------------|
|                                                   | 2022年              | 2023年           |        |       |         | 2024年           | 2025年           |
|                                                   | 実績                 | 目標              | 目標値    | 実績    | 目標の達成状況 | 目標              | 目標              |
| ①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO <sub>2</sub> /百万円) | 684.8              | 2022年実績に対して1%削減 | 677.92 | 676.9 | 達成      | 2023年実績に対して1%削減 | 2024年実績に対して1%削減 |
| ②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)                    | 28.7               | 2022年実績に対して1%削減 | 28.43  | 39.8  | 未達      | 2023年実績に対して1%削減 | 2024年実績に対して1%削減 |
| ③売り上げ100万円当りの水資源投入量の削減(m <sup>3</sup> )           | 0.27               | 2022年実績に対して1%削減 | 0.268  | 0.23  | 達成      | 2023年実績に対して1%削減 | 2024年実績に対して1%削減 |
| ④化学物質取扱及び管理の徹底                                    | —                  | 管理の徹底           | —      | 管理の徹底 | 把握      | 管理の徹底           | 管理の徹底           |
| ⑤本業に関する目標<br>(不良率の削減)                             | 1.23%<br>2021(実績値) | 2022年実績に対して1%削減 | 1.22%  | 2.93% | 未達      | 2023年実績に対して1%削減 | 2024年実績に対して1%削減 |

### 2. 主な環境負荷実績

| 環境への負荷                         | 2021年    | 2022年    | 2023年    |
|--------------------------------|----------|----------|----------|
| ①二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) | 120,053  | 124,404  | 134,143  |
| ②電力使用量(kW)                     | 249,686  | 269,075  | 293,143  |
| ③ガソリン使用量(L)                    | 3,314.21 | 3,054.96 | 3,488.13 |
| ④廃棄物排出量(kg)                    | 5,155    | 5,218    | 7,876.98 |
| ⑤水資源投入量(m <sup>3</sup> )       | 44.6     | 49.1     | 44.6     |

## 5. 環境経営計画の取組みと評価

\*2023年7月～2024年6月の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

| 環境経営計画                                                                                         | 環境経営計画の取組結果とその評価                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. 二酸化炭素排出量の削減</b><br>①エアコン清掃の実施(室外機チェック)<br>②社用車の点検・整備<br>③電力・ガソリン量の集計<br>④目標達成状況・活動進捗状況確認 | ・電力使用量は、不必要な電力を使わないように節電の意識が浸透してきた結果と考えられる。朝冷暖房をつける際に、同時に電源を入れるのではなく時間差をつけて一気に電力が上がらないような工夫も行った。<br>・LPGの二酸化炭素の排出量は使用しなかったために昨年同様ゼロだった。<br>・ガソリンの使用量に関しては、直接納品に伺うことや客先に訪問して打ち合わせ、展示会出展数増加により車の使用頻度が増えてしまった為増加している。 |
|                                                                                                | <b>次年度の取組内容</b><br>全社で省エネ活動を引き続きおこなう。(消灯や温度設定・エコドライブ等)                                                                                                                                                             |
| <b>2. 廃棄物排出量の削減</b><br>①分別ルールの徹底<br>②廃棄物置場の整備<br>③廃棄物排出量の集計<br>④目標達成状況・活動進捗状況確認                | 昨年同様、紙ごみ・シュレッダー紙はリサイクルのボランティア団体へ、産廃はリサイクル業者に引き取ってもらう事を継続、分別ルールの徹底及び案内表示を明確にし、廃棄物排出量削減に心掛けているが目標達成に至らなかった。活動に関しては、ゴミ削減の取組が定着しているものの、もっと多くの端材をリサイクルにしたい。                                                             |
|                                                                                                | <b>次年度の取組内容</b><br>・引き続き分別方法の確立およびコピー用紙使用量の管理徹底をしていく。                                                                                                                                                              |
| <b>3. 水資源投入量の削減</b><br>①毎月のメータの確認(漏水防止)<br>②目標達成状況・活動進捗状況確認                                    | ・目標値は、達成できた。次年度も引き続き削減に向けて活動推進していきたい。                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                | <b>次年度の取組内容</b><br>・無駄のない使用を心掛ける。                                                                                                                                                                                  |
| <b>4. 化学物質取扱及び管理の徹底</b><br>①取扱商品（化学物質含有）の把握<br>②購入量の把握<br>③管理手順の策定（化学物質含有の場合）                  | ・取扱商品（化学物質含有）の把握、購入量の把握。                                                                                                                                                                                           |
|                                                                                                | <b>次年度の取組内容</b><br>・新規の溶剤等を使用する際は必ずSDSを入手して化学物質の含有について確認を引き続き徹底する。                                                                                                                                                 |
| <b>5. 非常時の対応</b><br>①訓練・表示・消火器・AED・救急対応                                                        | <b>次年度の取組内容</b><br>・年二回の非常時訓練継続。 AED・梯子訓練は新入社員入社時おこなう。                                                                                                                                                             |
| <b>6. 本業に関する目標</b><br>①不良率の把握<br>②材料の在庫管理<br>③マシンのメンテナンス<br>④工具管理                              | ・不良率は難易度の高い案件を受注する機会が増え加工に苦戦し不良が大幅に増えてしまった。<br>・材料置き場は引き続き見やすい管理方法で推進していく。<br>・マシンのメンテナンスや工具管理をきちんとおこなうことにより、寸法精度や加工時間短縮につながるため、継続的にこれらをおこなっていく。                                                                   |
|                                                                                                | <b>次年度の取組内容</b><br>・全社にて連携をより密におこない、不具合の発生を未然に防ぐ体制の構築に努める。                                                                                                                                                         |

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

| 法規制等の名称 | 遵守事項                                  | 遵守状況 |
|---------|---------------------------------------|------|
| 騒音規制法   | 特定施設の届出                               | 遵法   |
| 振動規制法   | 特定施設の届出                               | 遵法   |
| 浄化槽法    | 保守点検実施、法定検査実施                         | 遵法   |
| 廃棄物処理法  | 委託基準（契約書・許可証）、<br>マニフェスト交付・保存及び交付状況報告 | 遵法   |

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直し・指示

月一回の環境委員会での話し合い、週一回のエコアクション運動を含めた環境改善など、継続しておこなっている成果が出ていると自負しています。顧客企業より環境活動に関する調査を求められる機会も増えてきているため、活動の重要性も感じながら、社会貢献活動につなげていきたいと思ひます。